



※紙面の都合上、1人2問以内で掲載しています。 ※質問内容は、発言議員本人の提出によるものです。

発言項目

◎発言順に掲載。太字は下で紹介している質問を含みます。

木戸経康

- (自民党・市民クラブ・安佐北区)
平成30年7月豪雨災害
高陽地区へのスマートインターチェンジの設置等
広島高速5号線
平和記念式典の挙行に適した環境の確保

石橋竜史

- (自民党・保守クラブ・安佐南区)
活力とにぎわいのあるまち
ワーク・ライフ・バランスのまち
災害に強いまちづくり

椋木太一

- (市政改革ネットワーク・安佐南区)
市長の所信表明
カラーバリアフリー
広島市の少子化対策
生産緑地制度
エディオンスタジアム広島の活用・運用

田中勝

- (公明党・西区)
平和政策
持続可能な社会へ向けて「エシカル」消費の普及・啓発
防災・減災対策
SNSを活用した「いじめ・自殺相談」体制
広島駅における観光客の「おもてなし」
西広島駅周辺整備における賑わいとイメージ看板の設置

平和記念式典に適した環境を

問 平和記念式典の挙行の際、デモ団体による拡声機の音が聞こえてくる現状について、昨年12月に市民にアンケートした結果はどうなっているか。また、市はどう考え、今後どのような対応を行うのか。

答 過去5年間に式典に参列や、テレビなどを見たことがある人の約69%が条例を定め

市として、式典の参列者の心情を害するだけでなく、公共の福祉をも損ないかねない問題意識を持っている。今後、今年度の式典はこれまでの方策とともに文書で要請し、被爆75周年に当たる来年の式典については、条例の制定も視野に入れ、実効性のある方策を検討していきたい。



木戸経康 自民党・市民クラブ

平成30年7月豪雨災害

問 豪雨災害によって被災した鳥越橋の復旧はどうなっているか。また、新鳥越橋に布設した仮設水道管は歩道脇に露出した状態であり、早期の本復旧を望んでいるが、復旧の見込みは。

答 鳥越橋の復旧は、本年5月

末までに橋桁や橋脚の撤去を完了し、全ての下部工事について10月下旬から工事着手の準備を進め、上部工についても来年度末には完了予定である。また、新鳥越橋に布設した仮設水道管の本復旧は、新鳥越橋の橋脚に水道管を添架することとし、今年度中に工事を完了し、仮設水道管を撤去する見込みである。

教育現場の環境整備を

問 全国的にも教員のなり手が減少する中、本市では「教員志望者」を如何に増やし、また質を担保しては、一方で「教員の職場環境」を改善した上で、「人材を確保」する為にも、どの様に働き方改革を推進するのか。

答 教員の確保は喫緊の課題であり、全国で採用試験説明会

などを実施し、今後は中四国地方の大学での説明会開催など志願者の増加に取り組む。また、昨年「広島市の学校における働き方改革推進プラン」を策定し長時間勤務解消、休暇取得促進のため、中学校部活動指導員の配置や学校閉庁日拡充などに取り組み、教員を目指す人材にとって魅力ある職場となるよう働き方改革を進めていく。



石橋竜史 自民党・保守クラブ

災害時の避難所改善へ

問 「災害死ゼロ」のみならず「災害関連死ゼロ」を目指すべく、昨年の西日本豪雨災害後に行われた「避難対策等検証会議の提言」を踏まえ、「避難所の環境整備等」について如何に取り組み、また今後、取り組まれるのか。

答 同提言を踏まえ、一時退避

する施設の確保やペットと避難可能である旨の周知、今年度から保健師を避難所運営要員から外し、専任化を図るなど見直しを行い、避難所生活環境改善に取り組んでいる。今後簡易シャワーの早期設置、食事メニューの多様化などに取り組む。

カラーバリアフリーの推進を

問 色弱者は日本人男性の5%、女性の0.2%の割合であり、色を識別しやすいカラーバリアフリーが必要である。色弱の児童・生徒のため、対応したチョークを市立学校に導入すべきでは。ハザードマップも危険箇所が識別しづらいがどうなっているか。

答 保護者の希望により児童生

徒の色覚検査を実施し、該当する児童には板書に言葉で説明を加えたり、資料等の色に配慮している。チョークは回答のあった学校の約4割が使用している。また、洪水ハザードマップは、国が定める配色で作成し、土砂災害ハザードマップは、市のユニバーサルカラーガイドラインを参考に作成している。



椋木太一 市政改革ネットワーク

男性の育休取得を

問 少子化対策における、男性の育児休業取得について、本市の取得率の目標は。過去5年間の男性職員の取得率はどうか。民間企業の育休取得促進のため、本市の取り組みをモデルケースに周知してはどうか。

答 「広島市職員子育て支援プ

ラン」において、男性の育児休業取得率を今年度末までに13%以上とし、過去5年間は平成26年度3.9%、27年度3.3%、28年度4.5%、29年度6.9%、30年度7.6%と着実に向上している。本市の事例をまとめ、民間企業の取得率向上に向け周知を図りたい。

東京での原爆・平和展の実現を

問 東京オリンピック・パラリンピックに合わせて開催検討している東京での原爆・平和展を、広く世界に平和を発信する絶好の機会になるものと考え、これまでより規模を拡大し、より充実したミニ平和記念資料館としてはどうか。

答 被爆75周年に当たる来年

は、国内外から多くの人が東京を訪れる。これを好機と捉え、東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催期間中に東京都内で、ミニ平和記念資料館とも言えるものとして実施したいと考えている。内容は現在、関係機関等と調整中だが、被爆者から次世代を担う世代に平和のバトンを渡していくことができるよう取り組む。



田中勝 公明党

エシカル消費への推進を！

問 SDGsで推進されている持続可能な社会へ向けて、より素敵な消費活動を展開する「エシカル」という言葉を普及・推進し、次世代を生きる若者をはじめ、市民に広く、広報してはどうか。

答 消費者向け講座の開催や児

童生徒利用リーフレットの学校への配布などにより意識啓発に努めているが、市民や企業に十分浸透しているとは言えない状態である。このため、広報紙の特集等を通じて周知を図るとともに、特に次世代の担い手である若年層に対し、イベントでのPRや出前講座などを通じて周知を図りたい。

復旧に向け、確実な工事発注を

問 災害復旧について「3年以内に復旧が完了するよう取り組み」と市は答弁しているが、入札不調や不発により、復旧事業が遅れる可能性もあると危惧するが、本市はどのように対策をとるのか。

答 本市では、復旧工事を円滑

に進めるため、国や県、業界団体等で構成する「広島豪雨災害復旧工事情報連絡会議」への参加など、関係機関等と情報共有を図り様々な対応をしている。具体的には、3500万円未満の工事の主任技術者等の兼務制限緩和や工事着手日選択型契約方式の試行、労働者確保や資材調達費用計上などを実施している。引き続き対応策を検討し、円滑な執行に努めたい。



山内正晃 市民連合

拠点間をつなぐバス路線

問 本市が都市計画マスタープランに掲げる拠点地区である高陽、可部、緑井などにおいては、それぞれの拠点活性化とともに、拠点間を結ぶ公共交通網の充実が必要であると思いが、こうした郊外拠点間を結ぶ公共バス路線の重要性をどう考え、対応するのか。

答 本市は、都心と拠点地区に

都市機能を集約し、公共交通等で連携する集約型都市構造を目指し、郊外拠点間の公共交通網は、平成28年に策定した「地域公共交通網形成計画」では基幹バスと位置付けている。バス路線の確保に向け、事業者に働きかけた。

中学校給食は自校調理給食の拡大で

問 自校調理給食はセンター給食より多くの点で勝っており、全国的に大規模センターから自校調理方式に変える自治体が生まれている。中学校給食の見直しは、大規模給食センター化を目指すのではなく、自校調理方式の拡大を進めるべきと思うがどうか。

答 五日市地区学校給食セン

ターはHACCPの認定を受けた高度な衛生管理を整備し、温かい給食を提供し、残食が減少している。また、自校調理場は約4割が老朽化し、改修等に多大な財政負担が生じる。市全体で、安全で効率的、持続可能な給食提供体制を考える必要がある。



藤井敏子 日本共産党

高齢者交通費助成制度の拡充を

問 9万人の高齢者がポイント事業に参加できていない。公共交通利用助成制度は廃止ではなく、買物、通院でも自由に利用できる制度に拡充することを検討すべきだと思いがどうか。

答 現行の制度を、買物、通院

で利用することについては、本来の目的に沿っていないため、制度拡充ではなく創設として、また、少子高齢化の進展が見込まれる中で必要性や費用対効果などから、慎重に判断する必要があると考える。

